

ふらんす¹へ行きたくなしと思へども ふらんすはあまりに遠し² 半茶

生来の出不精³で子供⁴の頃から苦勞⁵している。浪人⁶の頃、二週間ばかり部屋に閉じこもっていたことがある。なんでそういう無茶をしたか、特に理由⁷はない。面倒くさい病⁸発症の巻である。誰とも喋らず部屋に閉じこもっていると段々と頭の中⁹で一つの考えがグルグル¹⁰と回り始めてくるのが判ったのが収穫であった¹¹。兎に角¹²旅行は嫌いである。驢馬¹³は旅しても駿馬になって戻ってくるわけではない¹⁴。というのが得意の言い訳である。

¹ 国の名前。ヨーロッパに存在するとされる農業国。ギロチンが特産品。

² 『萩原朔太郎「旅上」のもじり』。この雑文のタイトルである。なぜ雑文にタイトルが必要とされるか。“鯛を取る”で縁起がいいからという説は今ここで提唱された。

³ 出不精なのは、人に会うのが億劫だからである。なぜ億劫かという他人が嫌いだからである。なぜ嫌いかという自分自身を好きでないからである。このように好き嫌いの理由を追求すると死に至ることが知られている。

⁴ ものごころがついた子供は子供なのであろうか。すでに大人なのではないだろうか。

⁵ 若い頃の苦勞は買ってでもやれ。などと申しますが浅井五郎のクローンは勝手にデモやれとは言わないものである。

⁶ 言うまでもなく大学浪人のことを指す。仕官していない侍のことではない。この時代に一人さびしく海を見に浜辺に出かけていった話は「浪人と海」で詳しく述べられる。

⁷ 同じく日々の生活にはほとんどその理由はないし、言ってみればこの世に生まれでてきたことにも理由はない。同じようなことである。

⁸ 大学時代は、「また半茶の面倒くさい病だよ。」と日々呆れられていた。この病は未だに感知しない。きっと死に至る病なのであろう。

⁹ 最近では消しゴムを入れることが流行している。

¹⁰ グルグル回るものとしては、その他に魔方陣が良く知られている。

¹¹ この収穫は、その後何の役にも立っていない。

¹² ウサギにツノでなぜとにかくなのであろうか。第一にウサギにツノは生えていない。第二は……ない。

¹³ 老婆は旅をしたら、歳をとって戻ってくる。あるいは戻ってこない。

¹⁴ と、昔の人は言っていたと山本夏彦は書いていた。

取締役¹⁵から仏蘭西に行って来いと指示が下る。よっ！ 小粋なアメリカンジョーク¹⁶だねと聞き流し¹⁷ていたのが失敗の元¹⁸だった。そろそろパスポート¹⁹は取得したかね。期限ギリギリ²⁰になってから念押しが入る。本気だったのか。本気と書いてほんきと読む。ホンキートンクピアノプレイヤー²¹はタイタンの妖女²²である。急いで参加メンバーを募る。というか半ば脅迫に近い形で旅の勇者を募る。だいたい、私が行っても役に立たないとか私の仕事と関係ない業務なのである。それが何故、何故なの？Why²³? 関係部署から生贄²⁴を募る²⁵。ここから指輪を火口に捨てに行く長い旅が始まる²⁶。

¹⁵ 途中で事業部長とか本部長とか部長とか次長とか課長とかお局様とかが居るのに何故直接指示するか。組織というものをどう考えているのだ。きっと馬鹿なのであろう。

¹⁶ 例えば「ワトソン君、キャンプのテントで寝ている僕たちの上に満天の星空が見えるね。これから何が判るかね。」「これだけの星があると、その中には知的生命体が存在する可能性が高いことがわかるね。」「馬鹿だな、僕たちはテントを盗まれたのだよ！」の類い。平均的日本人が笑うにはハードルが高い。ハードルが高ければ高いほど、くぐり易くなる。

¹⁷ 1年ほど聞き流して英語を iPod で聴いてたが、ぜんぜん英語学習に役に立たないことがわかった。内容を聞き取ろうという意思が重要である。

¹⁸ しばしば酸っぱいノートに記載されている。ちなみに再生紙は酸で処理しているので酸っぱいことが多い。

¹⁹ ポート（港）をパス（通過）するための冊子。と勘で書いてみる。

²⁰ ギリギリチョップというのは期限ギリギリなのであろうか、ギリギリと引き絞ったものなのであろうか。チョップ肉ということはあるのだろうか。

²¹ ピアノプレイヤーは電子オルガンの夢を見るか。

²² タイタンに妖女がいるならば、論理的に考えてタイタンの幼女もいるはずである。

²³ 何故と問うのは、人の行動には理由があると考えられるせいである。しかしながら現実には理由がない行動も多々存在する。例えば生きること自体。

²⁴ 池には二羽、裏池には二羽生贄がいる。

²⁵ ♪募る 重い 体中感じて～ とザードも歌っている。足におもりをつけられて東京湾に放り込まれた時の歌であろう。

²⁶ 指輪物語はブックオフでコソコトと全巻そろえたのだが、未だに積んだままである。そろそろ老眼が進んで文庫本を長時間読むのが辛くなってきた。結局読めないままで終わるかも。

三名の勇者が選ばれた。勇者よ死んでしまうと花咲けない²⁷。

成田空港²⁸で三人は待ち合わせ²⁹である。一週間の旅行だが、私の仕事はないので³⁰、着替えと念のためにパソコン³¹一つだけ。小さめのキャリーバッグ³²一つに押し込んである。同行者の一人は私の荷物の少なさに驚く。しかし上には上がいるもので、もうひとり通勤用³³のカバン一つでやってきた³⁴。減らそうと思えば減らせるものである³⁵。身体検査用のゲート³⁶で引っかかる。ライター³⁷、ベルト³⁸、腕時計³⁹、次々を外すがチャイムが鳴る。結局、靴底を止めている釘が反応していることがわかる。靴を脱いでやっとのことゲートをくぐったが、安物の靴が旅の終わりまで足を引っ張ることになる。

²⁷ 世界に一つの花って、店頭の花だから枯れてしまっただけで子孫を残せないんだけどナンバーワンとかオンリーワンとか言っている場合なのか。作詞家はゲイだから子孫を残すことは二の次なのか。ニノの次ということは嵐のメンバーの序列的に誰なのか。リーダーなのか？ そうなのか？

²⁸ 当然ながらこの段落の前にパスポート取得のドタバタが入る。ヘボン式ローマ字にしなかったためのトラブルとか。窓口に並んでいた外国籍女性のトラブルとか。しかし、それを書いてしまうといつまでたってもフランスに到着できないので省略する。

²⁹ また、空港に向かう成田スカイライナーで指定席を間違えるというトラブルがあったが、それを書いてしまうといつまでたってもフランスに到着できないので省略する。

³⁰ 何故そんな出張が命じられたか、未だに理由は不明である。

³¹ 有線LANで使用するセットを持っていったが、失敗だった。その理由は後で述べられるであろう。

³² ヨーカドーが一番やすいやつを買ってきた。三日間旅行用と書いてあったような気がする。まあなんとかなるでしょう。

³³ 着替えが一日分しかいれていないので、毎日下着とワイシャツを洗濯していた。こちらはそこまでやることはなかったが、毎日選択を迫られていたのでおあいこであろう。

³⁴ 風来坊かよ。

³⁵ これ以上減らそうと思うと、毎日着ているものを選択してヌードで就寝ということになるだろうか。

³⁶ コントの舞台として頻繁に採用される。しかし、何度経験してもどきどきするのは何故だろう。

³⁷ もちろん著述家を従えていたわけではなく、喫煙用の着火器である。あと、タバコの箱の銀紙もよく反応する。

³⁸ 仮面ライダーの変身用機器ではなく、スーツのパンツがずり落ちないように止める装身具である。通常、金具で止めることが多い。

³⁹ この旅行のために安い電波時計を購入した。複数の時間帯に簡単に変更できるので便利と思っていたが、夏時間になっていたのを知らずにしばらく混乱した。3月最終日曜から10月まで夏時間というのは夏が長すぎないか、仏蘭西よ。一つの季節が7ヶ月というところから判断して、フランスの一年は7ヶ月×4季節=28ヶ月を要すると推定される。

飛行機に乗り込むと、運よくすいていて隣の席が空いている⁴⁰。十二時間⁴¹やる
ことがない。寝て起き寝て起きしても状況に変化がない⁴²ので、映画でも見る。娘
がパリに旅行に行ったとたんに誘拐されて売春組織に売り飛ばされる話⁴³。パリ
の麻薬密売組織相手に重火器を撃ちまくる話⁴⁴。仏蘭西への密輸入国者が飢えと
乾きでバタバタと死ぬ話⁴⁵。この航空会社はパリに恨みでもあるのか。パリ行きの
飛行機なのに、なぜパリの印象を悪くするのだ。あと、二人の奇術師がトリックに
人生をかける話⁴⁶と、首相暗殺の濡れ衣を着せられた男の逃亡の話⁴⁷とアメリカ
軍の爆弾処理班の話を見る⁴⁸。暗い話ばかりだなあ。シャーロック・ホームズ⁴⁹は
明らかに腐女子⁵⁰向けに作ってあった。そろそろ着陸態勢というアナウンスを受
け、トイレに向かう。十二時間ぶりに立ち上げると体がちゃんと動かない、ロボッ
ト⁵¹のような動きでギクシャクする。

⁴⁰ なぜ空いていたのかその理由は不明である。ちなみに帰りの便は混んでいた。

⁴¹ ジャック・パウワーでも仕事が半分しかできないではないか。

⁴² ふと外を見るとシベリアの上空らしく、大地は見渡す限り白。多分雪と氷河な
のだろう。太古、地球の大部分は海に覆われていたという。海であったところが地
殻変動で急速に隆起し大地となった場合、巨大な塩水湖ができたことだろう。塩
水湖は長い時間をかけて干上がり、岩塩の大地を形成する。その岩塩でできた台
地に家を建てたとしよう。人はどのような苛酷な環境でも生き延びるものだ。そ
の家の窓から見える海だったものは、どこまでも白く広がる塩の平原。全方向塩
分である。この良質の塩を振り掛け生野菜にかぶりつく。生野菜といっても玉ね
ぎや白葱には向かない。特に下仁田葱は生では辛すぎる。下仁田禁止である。など
と妄想してもなお、シベリアの上空である。

⁴³ えーと、パパはなんとかというタイトルだったかな。離婚した元女房が連れて
いったため、娘をストーキングしているパパは、実は凄腕スパイだったという話。
でも暗い話だったなあ。

⁴⁴ トラボルタ主演。ストーリーはあってないような活劇映画。大量のコカインを
ツボに入れてうろろろするのとツボを壊すのは面白かった。

⁴⁵ 「トランスポーター」昔、TVで見たような気がする。主人公の冒頭のクールさ
が、後半グダグダになり同一人物とは思えない。

⁴⁶ プレステージ。原作のラストのなんと考えればよいのかさえ途方に暮れるラス
トに比較するのは酷だが、トリックのため人生すべてを捨てることの悲哀が伝わ
ってくるいい映画でした。

⁴⁷ ゴールデンスランパー。劇団一人に120点。堺雅人に100点。あとは80点の演
技。

⁴⁸ アカデミー賞をとったんだっけ。ああ、それでといった感じでした。事実に基づ
いた悲劇に対して不感症なのかもしれない。

⁴⁹ ホームズとワトソンが萌え萌えツンデレでした。

⁵⁰ 娘が最近BL本とか読んでいて、父親としてどうすればいいのか途方に暮れて
います。

⁵¹ ロボットに実態があって、ポットがソフトウェアであるから、金属筐体は
“口”であろう。

ドゴール空港に到着。どのようにすればよいのか皆目わからないのでとりあえず列に並ぶ。なんか行っていいよというそぶりをされたので、何かを通過する。このあと更に何かを通過しなければいけないのか、それとも通過するのはこれで終わりなのかさっぱりわからない。タクシーが手配されているはずなので、待合場所に向かう。待合のフロアにトイレが見当たらない。ドーナツ⁵²状の建物を一周してみるとトイレは一箇所だけ。しかも男性用は小1大1⁵³。タクシーがない。なるほどこれが仏蘭西時間⁵⁴か。約束の時間が30分過ぎたので電話してみる。今出ましたとのこと、蕎麦屋⁵⁵の出前は全世界共通のようである。結局一時間遅れでタクシーが出発。パリのホテルに着く。現地待ち合わせの人⁵⁶と食事に出かける。適当に入ったレストランで適当に注文する。どうも様子がおかしい。夜の9時過ぎているはずだが、明るい。食べても食べても量が減らない⁵⁷。街の人が背が高く格好いい。ようやく10時15分を過ぎたあたりで暗くなり始める⁵⁸。明日の会議の打ち合わせも終わったので11時ごろホテルに戻る。廊下と階段が真っ暗なのに閉口する。こんなこともあろうかと⁵⁹キーホルダーにポケットライトをつけていて助かった⁶⁰。風呂⁶¹を浴びても眠れない。Etherの端子も見つからない⁶²。TV⁶³も故障していたので、やることもない。引き出しを開けてみるが聖書⁶⁴も置いていない。

⁵² ドーナツ状の建物であることから、加速器に転用することは容易であることが推測される。さすが核兵器保有国である。

⁵³ このことから、フランス人は排泄頻度が極端に少ないことが推測される。

⁵⁴ 似たようなものに長崎時間（長崎人が時間にルーズなことを指す）、工画部時間（あらかじめ遅れる時間を指定するが、その時間に遅れることは許されない）、満員電車時間（猥褻な行為をされていると被害者にとって時間が長く感じられる）などがある。

⁵⁵ パリでは蕎麦屋は見かけなかったが、日本食レストラン、バリ式ふとん屋（なんだそりゃ）などを見かけた。

⁵⁶ 日本人二人。一人は英語とフランス語が喋れるが、元上司のフランス人にいじめられたことがあるためフランス嫌いで、よっぽどのがないとフランス語を喋らない。当然ながら私は日本語オンリーである。

⁵⁷ なんか洗面器みたいな皿に肉とかが載ってたような気がする。フランス人は良く食べるね。欧米か。

⁵⁸ 6月ころはこんなものらしい。白夜ではないよね、日が暮れるし。

⁵⁹ 宇宙戦艦ヤマトの真田機関長の台詞として有名。

⁶⁰ 国内ではビクトリノクスのポケットナイフもつけていたのですが、いつの間にか行方不明となった。いざというときには「こんなこともなからうかと……」と言わざるを得ない。

⁶¹ 換気扇がないので用をたすとなかなか臭さが抜けないのには閉口した。

⁶² 後で聞いたらWifiは使えたらしい。歴史ある建物なので、配線するのは大変らしい。電気のコンセントも壁にデカイ穴が開いていた。

⁶³ サッカーワールドカップ開催中だったので残念であった。

⁶⁴ この書籍は、キリスト教において非常に重要な位置を占めているので、宗教界のバイブルとまで呼ばれている。

朝まで町並みを眺める。

朝になったので、道に出てタバコ⁶⁵を吸う。久しぶりなので眩暈がする。6月だが肌寒い。このまま行き倒れになりそう。出勤途中の人たちにじろじろと見られる。しかし通り人通る人みんな背が高い。スタイルがいい。パリに住んだらコンプレックス⁶⁶で死んでしまうような気がする。会議に向かう。でかい扉を開いて中庭に入る。なにこの扉のデカさ⁶⁷。パリ解放軍を寄せ付けないためであろうか。会議室は地下室。壁は岩盤とレンガむき出し。第二次世界大戦中はレジスタンスが潜んでいたに違いない。会議の相手は全て女性⁶⁸。どうみても全員二十代。名刺をもらってみると全員博士号を持っていてびびる⁶⁹。こちらは爺と中年男性軍団だから最初から勝負に負けているような気がする⁷⁰。なんとか負けずに交渉して、善戦の結果会議は無事終了。私は聞いていただけですが。

会議が終わったので次の会議場に向かう。東パリ駅まで歩く。全く事前リサーチしなかったのが⁷¹、東パリ駅があるのならパリと北パリ、西パリ、南パリ、パリ浦和、武蔵パリ等の駅が近くにあるに違いないと思い、きよろきよろしてみる⁷²。しかし小道が多いので小さい信号機がやたらめったらある。信号機の形、大きさ、取り付け箇所がバラバラなので⁷³、信号が青なのか赤なのかすぐにはわからない。工事現場のあんちゃんに怒られながら⁷⁴ほうほうのていで駅に駆け込む。

特急に乗りこむ。切符に書いてある車両番号が列車を見てもよくわからない。一等席のほうが改札から遠い⁷⁵。案の定同行者が間違えて遠い車両に座ってしま

⁶⁵ 日本で買ったマイルドセブンライト。成田の免税店で買えばよかったと思ったが後の祭りである。

⁶⁶ ビーマイベイバー、ビーマイベイバー、ビーマイベイバー、ビーマイベイバー、ビーマイベイバー、ビーマイベイバー

⁶⁷ もちろんパリ市警のことではない。

⁶⁸ すごい美人と、美人と、かわいい人と、柳原可奈子。

⁶⁹ 博士号をとらなかったことを生まれて初めて後悔しました。

⁷⁰ 勝負に負けて試合に勝つ。勝と思うな、思えば新太郎よ。

⁷¹ 観光ガイドくらい買っておけば良かった。ほんとに他人の後ろをついていっただけ。

⁷² しかし、なぜ「パリ駅」がないのだろう。

⁷³ 写真とっておけばよかったなあ。

⁷⁴ 体のでかい黒人男性だったのでちょっとびびった。赤信号を渡ろうとしていたので注意してくれたらしい。

⁷⁵ 日本では考えられない。

う。その同行者が到着するまで空いている席に、当然のように仏蘭西人が座る。どいてもらう。そこの席の人が来る。またどける⁷⁶。

朝だか昼だか夕方だか夜だが⁷⁷、よくわからない時間帯に駅に到着する。国境に近いど田舎と聞いていたが駅前の広い広場にオペラ劇場⁷⁸、三方にみるからに⁷⁹歴史ある建築物。仏蘭西おそるべし。タクシー⁸⁰でホテルに向かう。さすがに駅を離れると田園風景。ホテルに到着する。民宿に毛が生えたようなものと聞いていたが、あきらかにお城。広い中庭。田舎町なので他に宿泊できる場所がないそうだ。聞くと築三百年⁸¹。新婚旅行に使用する人が多いらしい。我々の人数が急に増えたので、部屋が足りないなどと言い出した。しかたなく、下っ端の男二人⁸²はスイートルームに泊まることとなった⁸³。

晩御飯は出ない代わりに、宿の主人がレストランまで連れて行ってくれることとなった。場所を教えてもらえれば歩いていきますよというが、いや肉が美味しいところに連れてってやるというので車に乗り込む。あつという間に街を外れて田園風景⁸⁴。五分くらい走ると既にベルギー。え、晩御飯のために国外脱出⁸⁵かよ。

古い農場を改造したレストランに連れて行かれる⁸⁶。築三百年だって⁸⁷。また三百年かよ。京都の前の戦争みたいなものかな。もうそろそろ仏蘭西式大量料理に飽きてきたので、量が少なそうなものを選ぶ。ヒレ肉のステーキなら少ないだろ

⁷⁶ これを繰り返していると、数学的には席が無数ある場合には、最初の席が空くはずだが、到着する二時間までに演算が完了したか心配である。クラウド化が解決のソリューションとなるだろうか。

⁷⁷ パリダカ

⁷⁸ もちろんオペラを鑑賞する暇もない。

⁷⁹ みるからにマスカラス。

⁸⁰ 英語を喋らない運転手でコミュニケーションに苦労した。

⁸¹ 宝永8年ごろ建設された。

⁸² もちろん私が含まれる。何年たっても一番下っ端である。会社の高齢化も甚だしい。

⁸³ スイートに泊まるのは生まれて初めてである。別に甘いわけではなく、居間と寝室が続いているだけである。シャワールームがガラス張りなのはどういうわけであろうか。

⁸⁴ 交差点には信号がほとんどなく、ロータリー式の交差点が多かった。車が少ない場合はこれが合理的なのだろう。

⁸⁵ もちろんパスポート不要。

⁸⁶ もはや、店員が何語を喋っているのかさえわからない。

⁸⁷ 宝永大噴火で富士山が噴火したところに立てられた農場らしい。

うと注文するが、こぶし二つ分くらいのステーキが出てくる。Tーボーンステーキを注文した同僚には、でかい皿からはみ出したステーキが。泣きながら食べる⁸⁸。ワインも飲む。仏蘭西では食べかけのフォークとナイフとパンはテーブルクロスの上に直接置く⁸⁹のだなということが判る⁹⁰。やっと10時20分を過ぎて暗くなる。これだけ夜が長いと、一日を仕事とそれ以外に分けるのも判る気がする。

民宿に戻る⁹¹。全館禁煙⁹²ということで真夜中の中庭でタバコを吸う。頭がくらくらする。こんな古い洋館⁹³なのだから、真夜中に写真をとればなにか得体の知れないもの⁹⁴が写るに違いないと思い、デジカメ⁹⁵でやたらめったら撮ってみる。残念ながら霊的なものはデジタルになじまないらしい⁹⁶。スイートルームに戻るが眠れないのでTV⁹⁷をつける。ベッドに入るがうとうとでもすぐ目が冴える。そうこうしているうちに夜が明ける。田舎のせいかやたらめったら小鳥と鳩の泣き声が聞こえる。鳩が異常にでかい。

朝になり、旅はまだまだ続くがここで雑文は終わる。旅も雑文もそして人生も何時突然に終わるかもしれないという危機管理が必要とされることを我々は肝に銘じなければいけない⁹⁸。

⁸⁸ 人はパンのみによって生きるにあらずというのはこういう意味なのであろうか。

⁸⁹ 不衛生のようだが、一食ごとにテーブルクロスを交換していた。なるほど。

⁹⁰ そろそろ注にも息切れが発生してきた。まだ旅の半ばなのだが。

⁹¹ やはりパスポート提示は不要。そういえば出発前にパスポート用ビニールカバーなるものがあって購入してみたが、提示するたびにカバーを外すことになるのでまるっきり邪魔なものであった。

⁹² 仏蘭西は公共の施設は全面禁煙と聞きました。

⁹³ 古い洋館は趣があるが、古い羊羹はカサカサしてくるだけである。

⁹⁴ 具体的には幽霊とか。You! Rape! と言っても英語は通じない国であった。

⁹⁵ 娘のデジカメを借りてくる。この旅行の後あつというまに壊れた。

⁹⁶ 真偽は不明である。とりあえず怪しげなものは写っていないと思う。

⁹⁷ サッカーをやっているが、画面が不親切なので何対何なのか点数が全く判らない。試合が終わってもどちらが勝ったかすらわからない。あとはやたらめったら視聴者参加クイズ番組をやっている。問題も回答もわからない。出演者紹介にやたら時間をかける。日本では最近こういう番組はないなあ。

⁹⁸ 本当は、書いても書いても終わらないので飽きたためである。正直に申し上げたので桜の木を切ったことを許してください。